

- thm in Lemna gibba G3. *Plant & Cell Physiol.* 23: 909-916.
- . Phase control of the potassium uptake rhythm by the light signals in Lemna gibba G3. *Zeitschrift fur Pflanzenphysiol.* 107: 395-408.
- Sastroutomo, S.S. The role of turions in the re-establishment process of population in submerged species. *Ecol. Rev.* 20: 1-13.
- Sundaru, M., I. Baba, T. Tanabe & F. Tamai. The growth of paddy weed as affected by 2,4-D with special reference to ethylene physiology. *Weed Res. Japan* 27: 126-135.
- Tanaka, O., Y. Nasu, A. Takimoto & M. Kugimoto. Absorption of copper by Lemna as influenced by some factors which nullify the copper effect on flowering and growth. *Plant & Cell Physiol.* 23: 1291-1296.
- , Y. Nasu, D. Yanase, A. Takimoto & M. Kugimoto. pH dependence of the copper effect on flowering, growth and chlorophyll content in Lemna paucicostata 6746. *Plant & Cell Physiol.* 23: 1479-1482.
- <補遺 1976 ~ >
- 神田房行. 1980. 達古武沼におけるマリモの分布と形態. *藻類* 28: 123-127.
- 喜納政修・安里辰夫・田中康彦・高良保英. 1976. ホテイアオイ池による有機廃水処理実験. *下水道協会誌* 13 (146): 37-44.
- 阪井與志雄. 1980. 河口湖産フジマリモについて. *藻類* 28: 47-50.
- 月館潤一・高森茂樹. 1977. アマモの生長様式について. *南西水研報* (10): 123-130.
- . 1978. 細ノ州におけるアマモ及びアカモクの消長とそれに付着する動植物群量の時期的変動. *南西水研報* (11): 33-46.
- . 1979. コアマモの生長様式について. *藻類* 27: 91-94.
- 徳永隆司. 1981. 水生植物の水質汚濁防止への利用. *用水と廃水* 23: 127-135.
- . 北喜代志・北直子・森本昌宏. 1978. ホテイアオイの生長と無機栄養元素の貯蔵. *日本水処理生物誌* 14 (1): 1-8.
- 中田 勝・深谷勝久・竹下三吉・和田 裕. 1978. 水草による河川水中の重金属の取り込みと水中平均濃度の推定. *水質汚濁研究* 1: 43-47.
- 名取 真. 1978. 水生植物による排水処理 (ドイツ). *環境技術* 7: 917.
- Ishiguri, Y. & Y. Oda. 1979. Diurnal changes of red and far-red reversible reaction inducing flowering of a long-day plant, Lemna gibba. *Rep. Inst. Agr. Res. Tohoku Univ.*, 30: 13-19.
- <お願い>この文献リストは、現在、日本でどのような水草の研究が行なわれ、発表されているかを紹介するとともに、将来にわたって、この時代の研究を知る資料になればと思つてまとめています。できるだけいろいろな雑誌に注意するようにはしていますが、1人の目にふれるものといえは限られています。落ちていたものがございましたら御教示願ふると幸いです。特に、地方の生物学会、植物同好会の機関紙に載つたものについては、ほとんど知り得ないのが実情です。そのようなものがございましたら、別刷なりコピーを、神戸大学教養部 角野康郎までお送りいただくと大変助かります。決して無駄にはいたしません。
- O.J.J. Symoens. S. S. Hooper and P. Compere ed. " **Studies on Aquatic Vascular Plants** " (The Royal Botanical Society of Belgium, Brussels, 1982, 424p 販売は Otto Koeltz Scientific Publishers, West Germany, DM 100.0)
- 1981年、ベルギーのブリュッセルで開かれた International Colloquium on Aquatic Vascular Plants の Proceedings である。69篇の論文 (英語 43, 仏語 26)

が収めてあるが、Abstract だけのものもある。

この Colloquium は、C. D. K. Cook 博士によるトチカガミ科の受粉機構に関する開会講演のあと、次の6つのセッションにわけて進められている。

Systematics-Morphology, Physiology-Reproductive Strategies, Ecology-Community Metabolism and Production, Phytosociology-Distribution, Water Quality-Weed Control, Regression-Introduction-Conservation

すでに他の雑誌に正式の論文として発表されているものも含まれているが、Colloquium ならではの自由な議論を展開しているものもあって、興味深い論文集である。(角野)

O.S. J. Casper and H. D. Krausch

"Süßwasserflora von Mitteleuropa 23 & 24. Pteridophyta und Anthophyta 1 Teil & 2 Teil"
(Gustav Fischer Verlag, Stuttgart, 942 p, 1 Teil, 1980, 約 12,000円 : 2 Teil, 1981, 約 20,000円)

ヨーロッパ水生フローラの集大成である。シダ類以上の全ての水生植物(湿生植物もかなり含む)について、的確な図と詳しい記載がついている。属毎に重要な文献と、またそれぞれの種について分布図の載った文献が示されていて、何かを調べ始めるときに役に立つ。水生植物の分類や植物地理を研究するものには、重宝かつ不可欠の本であろう。(角野)

O.P. B. Tomlinson. **"Anatomy of the Monocotyledons (ed. C. R. Metcalfe). VII. Helobiales (Alismatidae)"** (Clarendon Press, Oxford, 1982, 552 p with 16 Plates).

水生単子葉類を研究している者にとっては待望の書である。いわゆる沼生目に属する各科、各属の形態を、数多くの文献に著者自身の研究資料を加えてまとめている。生殖器官よりも栄養器官についての記載が詳しいのが特徴である。今までに何がわかっているのか、そして、何がまだ調べられていないのかがよくわかる。高価な本(約 31,000円)であるが、座右において末長く使える本として紹介しておきたい。(角野)

水草関係文献目録 (3) [*印 原著未見]

<1911 >

中野治房. 邦産ひし属ノ変化ニ就テ (予報).
植雑 25 : (383) - (387)

<1912 >

中野治房. 淡水植物ノ生態学的研究. 植雑
26 : (115) - (116).
牧野富太郎. ひめほたるゐノ越冬状態ハはす的ナリ.
植雑 26 : (28)
松田定久. ひしノ支那ニ於ケル一産地ニ就テ.
植雑 26 : (28).

<1913 >

工藤祐舜. 茨藻属 (Najas) 雑観. 植雑 27 :
(61) - (62).
中野治房. 本邦湖沼の植物生態分布ノ其後ノ研究ニ就
テ. 植雑 27 : (347) - (348).
牧野富太郎. 伊予ニ於テあつけしそうノ発見. 植雑
27 : (557).
松田定久. 支那ノ蓴菜ニ就テ. 植雑 27 : (517)
- (518).
矢部吉禎・保井コノ. みづわらびノ生活史ニ就キテ.
植雑 27 : (233) - (245).

—————. 邦産あかうきくさ (Azolla) 属
ニ就テ (予報). 植雑 27 : (379) - (381).

<1914 >

岡村周諦. 湖底ニ生ズル本邦産蘚苔類ノ三種ニツキテ.
植雑 28 : (407) - (413)
武田久吉. あつけしそうニ就テ. 植雑 28 : (242)
- (244).
中野治房. 日本湖沼植物生態 (第二報) 諏訪湖植物
生態ニ就テ. 植雑 28 : (65) - (74),
(127) - (132).

<1915 >

岡村周諦. 湖底ニ生ズル本邦産蘚苔類ニツキテ (第二
報). 植雑 29 : (334) - (337).
武田久吉. みづにらノ解剖. 植雑 29 : (193) -
(194).

<1916 >

川村多実二. 湖沼生物帯ノ境界線ニ就テ. 植雑
30 : (155) - (156).
—————. 再び湖沼生物帯ノ境界線ニ就テ. 植雑
30 : (301) - (304).
武田久吉. みづにらノ説. 植雑 30 : (342) -
(348), (395) - (400), (421) - (427)
中井猛之進. 日本ノあまも属. 植雑 30 : (57).
中野治房. 日本湖沼植物生態 (第三報) 野尻湖植物